

「多文化共生」を考える研修会2018 開催結果

1 趣旨

日頃から外国人県民と接する機会の多い県・市町職員、教員、福祉事務所などのケースワーカー、日本語ボランティアなどを対象に、外国人県民の現状や様々な課題について、共に学び、理解を深めるための研修会を開催することにより、すべての人々が安全で安心して生活できる多文化共生社会の実現を推進する。

2 主催

(公財)兵庫県国際交流協会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市

3 内容

テーマ	時間	内容	講師等
8月20日（月）国際健康開発センター 会議室1			
総論 ～多様性と生きるために～	13:30～13:35	主催者あいさつ	(公財)兵庫県国際交流協会 理事長 高井 芳朗 (特非)神戸定住外国人支援センター 理事長 金 宣 吉
	13:35～15:00	少年時代の在日コリアンとの出会いが映画づくりにもたらすもの	行定 勲(映画監督)
	15:15～16:45	外国人の子どもと貧困 ～minami子ども教室を取材して～	宣 英 理(NHKディレクター)
8月22日（水）海外移住と文化の交流センター ホール			
外国にルーツを持つ 子どもの教育	13:30～15:00	CLD児にみられる発達の問題 ～子どもの困り感と支援のニーズ～	近田 由紀子(文部科学省初等中等教育局国際教育課 外国人児童生徒等教育支援プロジェクトオフィサー)
	15:15～16:45	学校におけるシチズンシップ教育のあり方 ～多文化共生の観点も含めて考える～	藤原 孝章(同志社女子大学特任教授)
8月24日（金）国際健康開発センター 会議室1			
外国人をめぐる 今日の状況	13:30～15:00	今日における「外国人」問題とはなにか	近藤 敦(名城大学教授)
	15:15～16:45	技能実習制度と実態 ～中部地方の事例から～	樽松 佐一(愛知県労働組合総連合議長)
8月27日（月）国際健康開発センター 会議室1			
日本と海外の 多(他)文化への対応	13:30～15:00	外国人政策の歴史の変遷 ～在日コリアンの歴史から～	文 京 洙(立命館大学国際関係学部特任教授)
	15:15～16:45	多文化社会ケベックの挑戦 ～インターカルチュラルリズムという方法について～	竹中 豊(日本カナダ学会顧問)